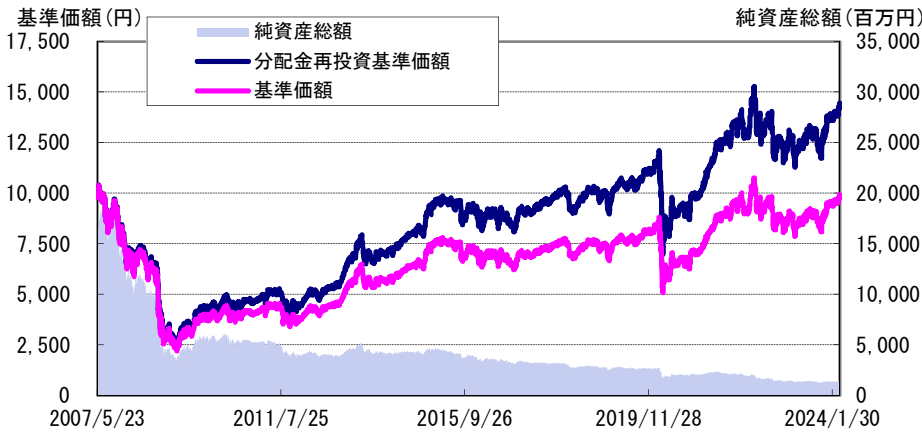


DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

追加型投信／海外／不動産投信
2024年3月29日基準

運用実績の推移



(設定日：2007年5月24日)
基準価額は1万口当たり・信託報酬控除後の価額です。なお、信託報酬率は「ファンドの費用」をご覧ください。
分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額とは異なります。
分配金再投資基準価額＝前日分配金再投資基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
基準価額は設定日前日を10,000円として計算しています。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基準価額	9,920 円
解約価額	9,890 円
純資産総額	1,398 百万円

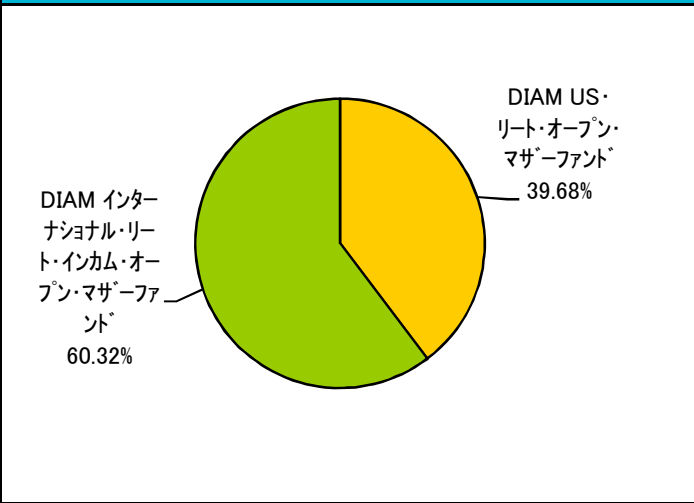
※基準価額および解約価額は1万口当たり

ポートフォリオ構成

不動産投信	94.80%
現金等	5.20%
組入銘柄数	61

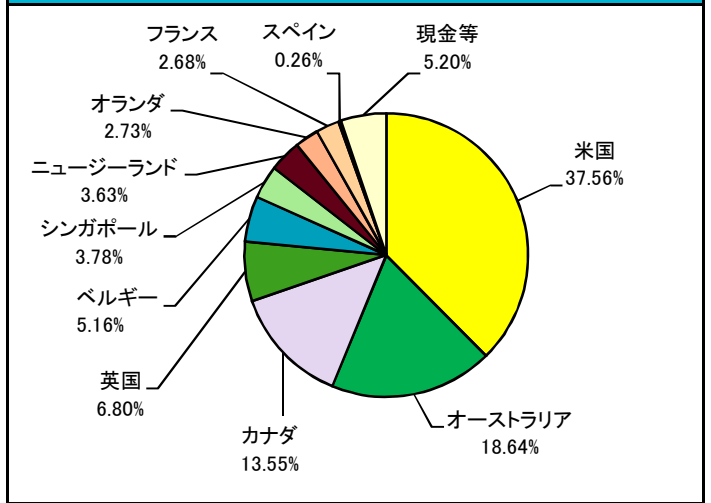
※比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

マザーファンド組入比率



※組入比率は組入れているマザーファンドの時価評価額の合計に対する割合です。

国・地域別配分



※組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

騰落率 (税引前分配金再投資)

1ヵ月 (2024/02/29)	3ヵ月 (2023/12/29)	6ヵ月 (2023/09/29)	1年 (2023/03/31)	2年 (2022/03/31)	3年 (2021/03/31)
4.50%	4.39%	15.77%	20.56%	-1.28%	30.03%

※1 騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りとは異なります。
※2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。
※3 各期間は、基準日から過去に遡っています。

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
※ P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

2024年3月29日基準

分配金実績（税引前）

※直近3年分

第167期 (2021.04.09)	10 円	第179期 (2022.04.11)	10 円	第191期 (2023.04.10)	10 円
第168期 (2021.05.10)	10 円	第180期 (2022.05.09)	10 円	第192期 (2023.05.09)	10 円
第169期 (2021.06.09)	10 円	第181期 (2022.06.09)	10 円	第193期 (2023.06.09)	10 円
第170期 (2021.07.09)	10 円	第182期 (2022.07.11)	10 円	第194期 (2023.07.10)	10 円
第171期 (2021.08.10)	10 円	第183期 (2022.08.09)	10 円	第195期 (2023.08.09)	10 円
第172期 (2021.09.09)	10 円	第184期 (2022.09.09)	10 円	第196期 (2023.09.11)	10 円
第173期 (2021.10.11)	10 円	第185期 (2022.10.11)	10 円	第197期 (2023.10.10)	10 円
第174期 (2021.11.09)	10 円	第186期 (2022.11.09)	10 円	第198期 (2023.11.09)	10 円
第175期 (2021.12.09)	10 円	第187期 (2022.12.09)	10 円	第199期 (2023.12.11)	10 円
第176期 (2022.01.11)	10 円	第188期 (2023.01.10)	10 円	第200期 (2024.01.09)	10 円
第177期 (2022.02.09)	10 円	第189期 (2023.02.09)	10 円	第201期 (2024.02.09)	10 円
第178期 (2022.03.09)	10 円	第190期 (2023.03.09)	10 円	第202期 (2024.03.11)	10 円
				設定来累計分配金	2,245 円

※1 分配金は1万口当たり

※2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
分配金が支払われない場合もあります。

組入上位10銘柄

No.	銘柄	国・地域	用途	組入比率(%)
1	ウェアハウス・ド・ポウ	ベルギー	工業	4.90
2	キラム・アパートメント・リート	カナダ	住居施設	3.97
3	グッドマン・プロパティ・トラスト	ニュージーランド	工業	3.63
4	カナディアン・アパートメント・プロパティーズ	カナダ	混合型	3.60
5	リージョンRE	オーストラリア	小売り	3.38
6	グッドマン・グループ	オーストラリア	工業	3.28
7	ナショナル・ストレージREIT	オーストラリア	倉庫	2.78
8	ヴァスネッド・リテール	オランダ	小売り	2.73
9	プロロジス	アメリカ	工業	2.61
10	リオカン・リアル・エステート・インベストメント・トラスト	カナダ	小売り	2.49

※組入比率は純資産総額に対する実質組入比率です。

ODIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)(以下、「当ファンド」)は、アセットマネジメントOne株式会社(以下、「アセットマネジメントOne」)によって単独で開発されたものです。当ファンドは、いかなる方法においても、FTSE International Limited (以下、「FTSE」)、London Stock Exchange Group plcおよび、そのグループ企業(以下、総称して「LSE Group」)またはNareitによって出資、保証、販売または販売促進されることはありません。

FTSE NAREITオール・エクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックス(以下、「本指数」)のすべての権利はFTSEおよびNareitに帰属します。「FTSE ®」はLSE Groupの商標であり、ライセンス契約に基づきFTSE International Limited (「FTSE」)によって使用されています。「NAREIT®」はNareitの商標です。

本指数はFTSEによって計算されます。FTSE、LSE Group、Nareitはいずれも、如何なる者に対しても(a)本指数の使用、信頼、または誤謬、(b)当ファンドへの投資または運営に起因する如何なる義務も負いません。FTSE、LSE Group、およびNareitは、当ファンドから得られる結果、またはアセットマネジメントOneによって提示される目的に対する本指数の適合性に関して、いかなる請求、予測、保証、または表明も行いません。

OS&P/ASX 200 アリート指数(豪ドル)は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P/ASX 200 アリート指数(豪ドル)のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.7の「当資料のお取り扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

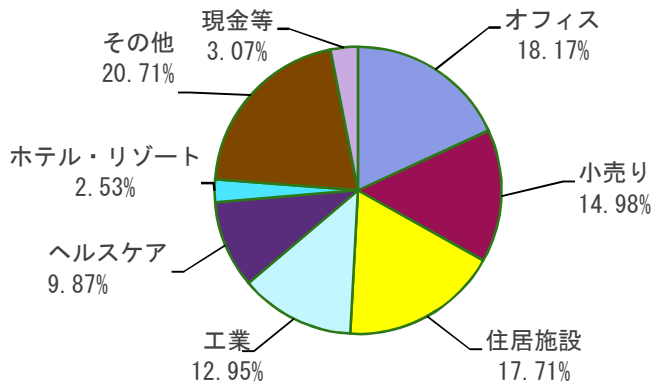
DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

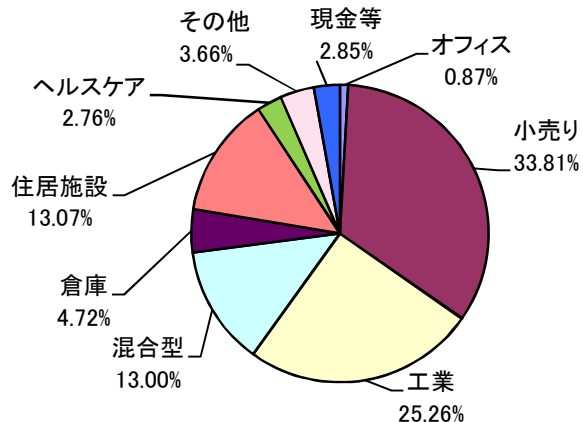
2024年3月29日基準

各マザーファンドにおける用途別組入比率（純資産総額比）

DIAM US・リート・オープン・マザーファンドにおける用途別組入比率



DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドにおける用途別組入比率



※用途分類は、運用に関する権限を委託している各投資顧問会社の独自の分類方法によるものです。

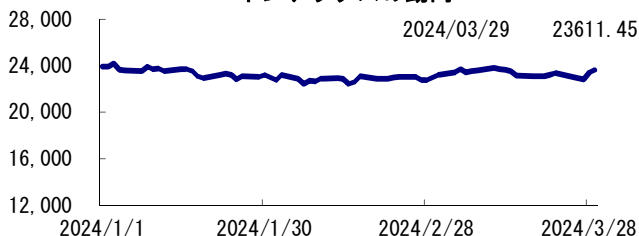
組入リートの配当利回り

当ファンド	配当利回り (%)
DIAM US・リート・オープン・マザーファンド	4.1%
DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	4.5%

※上記の各マザーファンドの配当利回りは、運用に関する権限を委託している各投資顧問会社により算出された各組入リートの配当利回りを現地月末時点の時価総額のウェイトで加重平均したものです。また、これらの配当利回りを基準日のマザーファンド組入比率で加重平均したものが上記の当ファンドの組入リートの配当利回りとなります。これらは、運用利回りとは異なり、また将来の運用成果等を保証するものではありません。

【参考】市況動向（直近3ヵ月）

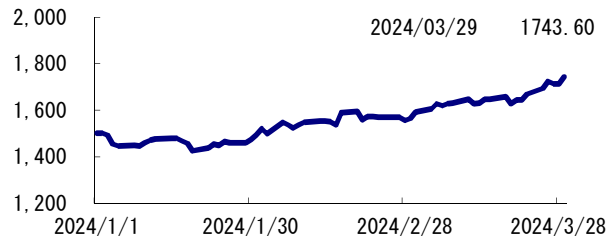
FTSE NAREITオール・エクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックスの動向



※FTSE NAREITオール・エクイティ・REIT・トータル・リターン・インデックスは、FTSEにより公表・算出されている米国の代表的なREITの指数（配当込み）です。

出所：Bloombergのデータを基に委託会社で作成

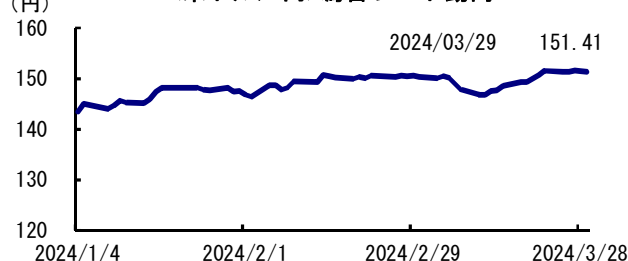
S&P/ASX 200 Aリート指数（豪ドル）の動向



※S&P/ASX 200 Aリート指数（豪ドル）とは、ASX200（オーストラリア証券取引所上場の主要200銘柄で構成される指数）の中の不動産関連証券で構成される指数です。

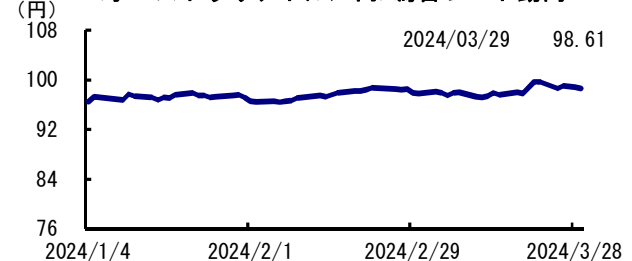
出所：Bloombergのデータを基に委託会社で作成

〈米ドル/円〉為替レート動向



※為替レートは、一般社団法人 投資信託協会が公表する対顧客電信売買相場の仲値（TTM）です。

〈オーストラリアドル/円〉為替レート動向



※当資料中の各数値については、表示桁未満の数値がある場合、四捨五入して表示しています。

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。
 ※ P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

2024年3月29日基準

当月のマーケット動向とファンドの動き

《米国リート市場》

米国リート市場は上昇しました。上旬は、米長期金利の低下を受けてリスク選好が改善し、上昇しました。中旬は、米CPI(消費者物価指数)の上振れを受けて長期金利が上昇に転じたことから、下落しました。その後、FRB(米連邦準備理事会)がFOMC(米連邦公開市場委員会)で年内3回の利下げ見通しを維持したことが好感され、下落幅を縮小しました。下旬は、米長期金利の上昇が一服したことなどから上昇しました。

分野別ではまちまちの展開となり、オフィスや住居施設などが上昇しました。

米国のリートに投資するDIAM US・リート・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で3.62%の上昇となりました。

《オーストラリアリート市場》

オーストラリアリート市場は上昇しました。上旬は、内需の悪化を示すGDP統計が公表される中で、豪州長期金利の低下が続き、リート市場は上昇しました。中旬以降は、米欧などで長期金利が上昇に転じた際には、弱含む推移も見られました。ただし、RBA(オーストラリア準備銀行)の金融引き締め姿勢の後退や豪CPIの鈍化を受けた豪州長期金利の低下が好感され、幅広いセクターで上昇しました。

《欧州リート市場》

欧州リート市場は大陸欧州、英国ともに上昇しました。大陸欧州では、ECB(欧州中央銀行)のラガルド総裁が理事会で6月の利下げ可能性を示唆したことや、ユーロ圏景況感の改善を受けて、上昇しました。英国でも、英失業率の上昇や英賃金上昇率の鈍化などを受けて、BOE(イングランド銀行)の利下げ観測が強まったことなどから、上昇しました。

《アジアリート市場》

アジアリート市場では、香港は下落した一方、シンガポールは上昇しました。香港では、万科企業の債務不安など不動産問題が懸念されて下落しました。シンガポールは欧米の利下げ期待を受けて上昇しました。

米国以外のリートに投資するDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドの基準価額は、前月末比で5.47%上昇しました。

《為替市場》

為替市場では、概ね円安の展開となりました。日銀がマイナス金利政策の解除を決定しましたが、当面は緩和的な金融環境が継続するとの見方から、米ドルや豪ドルなど幅広い通貨に対して円安となりました。

このような中、当ファンドの基準価額は4.50%上昇しました。

今後のマーケットの見通しと運用方針

《DIAM US・リート・オープン・マザーファンド》

米国では、インフレの鈍化などを受けて2024年の利下げ期待が高まっています。一方で、オフィスなど厳しいファンダメンタルズが続くことが予想されるセクターもあります。事業環境は改善傾向にあるものの、インフレが景気に与える影響、米銀の経営危機が債務の借り換えに与える影響などについても注意を払う必要があります。ただし現状ではニューヨーク・コミュニティ・バンコプの経営危機が、銀行業界全体に構造的な影響を与えるとは見ておらず、米国リートに与える影響は限定的と考えています。

当ファンドでは、従来と同様に財務体質が良好で、長期的な成長が期待できる銘柄を選別して投資する方針です。また、割安な水準にある銘柄にも投資することにより、比較的高い配当利回りを維持できるポートフォリオを構築していきます。

《DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド》

米国以外においても、一部では利下げ期待が起こっていますが、オフィスなどでは厳しいファンダメンタルズが予想されます。欧州市場では、工業、住居施設リートなど景気循環へのエクスポージャーが比較的限定的で、安定したキャッシュフローが期待しやすい銘柄を中心に投資を行っていく方針です。

アジアでは、景気動向が懸念材料となっており、リート市場は不安定な展開となることも予想されます。優れた収益成長見通しと健全な資本管理を持つ銘柄を選別して投資を行っていく方針です。

オーストラリアでは、工業や小売りリートなどのうち財務体質や成長性、配当利回りといった点に優れる銘柄を選別して投資する方針です。

※上記のマーケット動向とファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

2024年3月29日基準

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、DIAM US・リート・オープン・マザーファンドおよびDIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンドへの投資を通じ、実質的に日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と比較的高い配当利回りを安定的に獲得することを目標として運用を行います。

- 主に日本を除く世界各国のリートに実質的に投資します。
- 各マザーファンドの運用指図に関する権限は、デービス・セレクトド・アドバイザーズ(米国)またはファースト・センチア・インベスターズ(豪州)にそれぞれ委託します。
- 毎月決算を行い、原則として配当等収益を中心に分配を行うことをめざします。
原則として、毎月9日(休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、配当等収益を中心に安定した収益分配を継続して行うことをめざします。また、毎年3・6・9・12月の決算時には、原則として配当等収益に売買益(評価益を含みます。)等を加えた額から分配を行うことをめざします。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

※分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。
分配金が支払われない場合もあります。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。これらの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

- リートの価格変動リスク・リートの価格は、リートが投資対象とする不動産等の価値、当該不動産等による賃貸収入の増減、不動産市況の変動、景気や株式市況等の動向などによって変動します。当ファンドは、実質的にリートに投資をしますので、これらの影響を受け、基準価額が上下します。
- 為替リスク……………当ファンドは、実質組入外貨建資産について対円で為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を受けます。このため為替相場が当該実質組入資産の通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。
- 金利リスク……………一般的に金利が上昇するとリートの価格は下落します。当ファンドは、実質的にリートに投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。
- 流動性リスク……………当ファンドにおいて有価証券等を実質的に売却または取得する際に、市場規模、取引量、取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合には、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないことや、値動きが大きくなることもあり、基準価額に影響をおよぼす可能性があります。
- 信用リスク……………当ファンドが実質的に投資するリートが、収益性の悪化や資金繰り悪化等により清算される場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には、リートの価格が下落したりその価値がなくなることがあり、基準価額が下がる要因となります。

当ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「ファンドの費用」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.7の「当資料のお取り扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

2024年3月29日基準

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)	
購入単位	販売会社が定める単位(当初元本1口=1円)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日分のお申込みとします。
購入・換金申込不可日	以下のいずれかに該当する日には、購入・換金のお申込みの受付を行いません。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日・ニューヨークの銀行の休業日・オーストラリア証券取引所の休業日・オランダの祝祭日・フランスの祝祭日・イギリスの祝祭日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	無期限(2007年5月24日設定)
繰上償還	次のいずれかに該当する場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了(繰上償還)することがあります。 ・受益権の口数が10億口を下回るようになった場合。 ・受益者のために有利であると認めるとき。 ・やむを得ない事情が発生したとき。
決算日	毎月9日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回の毎決算日に、収益分配方針に基づいて収益分配を行います。 ※お申込コースには、「分配金受取コース」と「分配金自動引き落とし投資コース」があります。ただし、販売会社によっては、どちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳細は販売会社までお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更となる場合があります。

ファンドの費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)	
以下の手数料等の合計額、その上限額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。 ※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となる場合があります。 ※上場不動産投資信託(リート)は市場の需給により価格形成されるため、上場不動産投資信託(リート)の費用は表示しておりません。	
●投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入価額に、 2.75%(税抜2.5%) を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額となります。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。
●投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に対して 年率1.738%(税抜1.58%)
その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として、お客様の保有期間中、以下の費用等を信託財産からご負担いただきます。 ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、外国での資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 等 ※これらの費用等は、定期的に見直されるものや売買条件等により異なるものがあるため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

※ P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

2024年3月29日基準

投資信託ご購入の注意

投資信託は、

- ① 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
- ② 購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- ③ 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

当資料のお取扱いについてのご注意

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成した販売用資料です。
- お申込みに際しては、販売会社からお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 当ファンドは、実質的に不動産投信(リート)等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点(2024年4月9日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

◆ファンドの関係法人◆

<委託会社>アセットマネジメントOne株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号
 加入協会:一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 <受託会社>みずほ信託銀行株式会社
 <販売会社>販売会社一覧をご覧ください
 <投資顧問会社>デービス・セレクトド・アドバイザーズ
 ファースト・センティア・インベスターズ
 (オーストラリア)アイエム・エルティエーディー

◆委託会社の照会先◆

アセットマネジメントOne株式会社
 コールセンター 0120-104-694
 (受付時間:営業日の午前9時~午後5時)
 ホームページ URL <http://www.am-one.co.jp/>

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

○印は協会への加入を意味します。

2024年4月9日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○		
株式会社広島銀行	登録金融機関 中国財務局長(登金)第5号	○		○		※1

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。



アセットマネジメントOne

DIAM ワールドREITアクティブファンド(毎月決算型)

愛称：世界のハッピー・オーナー

2024年3月29日基準

販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)

以下は取次販売会社または金融商品仲介による販売会社です。

2024年4月9日現在

○印は協会への加入を意味します。

商号	登録番号等	日本証券 業協会	一般社団 法人日本 投資顧問 業協会	一般社団 法人金融 先物取引 業協会	一般社団 法人第二 種金融商 品取引業 協会	備考
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○		

●その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

※1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。

※2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。

※3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

※ 当資料は8枚ものです。なお、別紙1も併せてご確認ください。

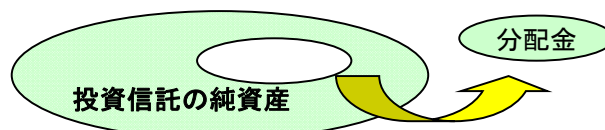
※ P.7の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。



アセットマネジメントOne

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

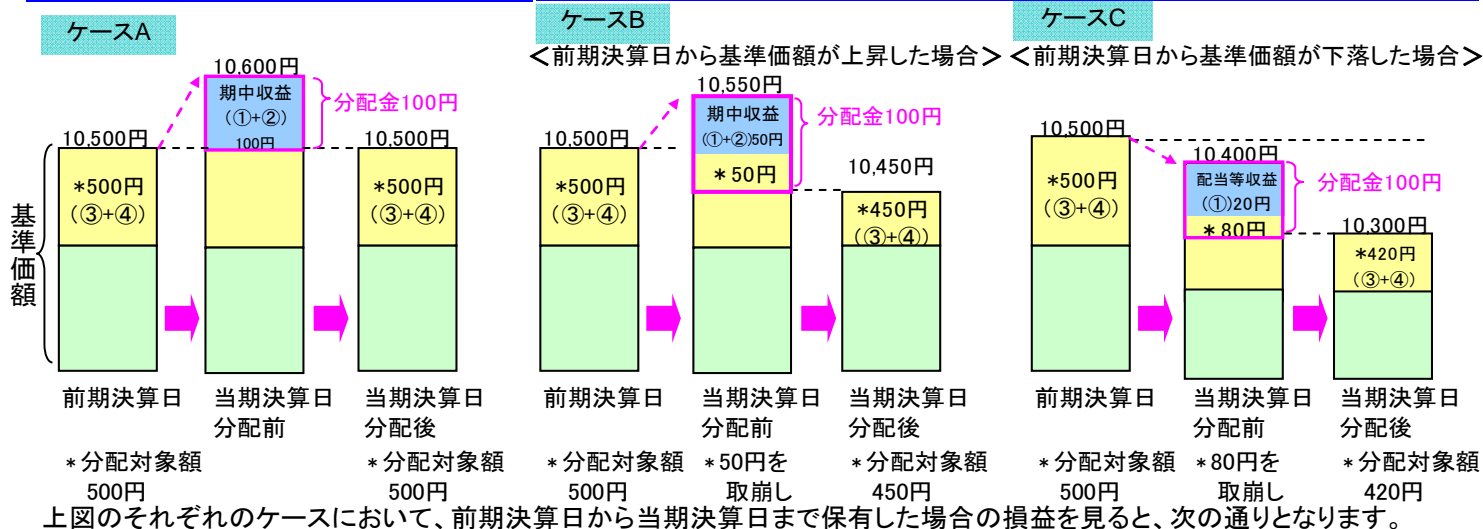
分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

- ①配当等収益(経費控除後)、②有価証券売買益・評価益(経費控除後)、③分配準備積立金、④収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



- ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円
- ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲50円 = 50円
- ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差▲200円 = ▲100円

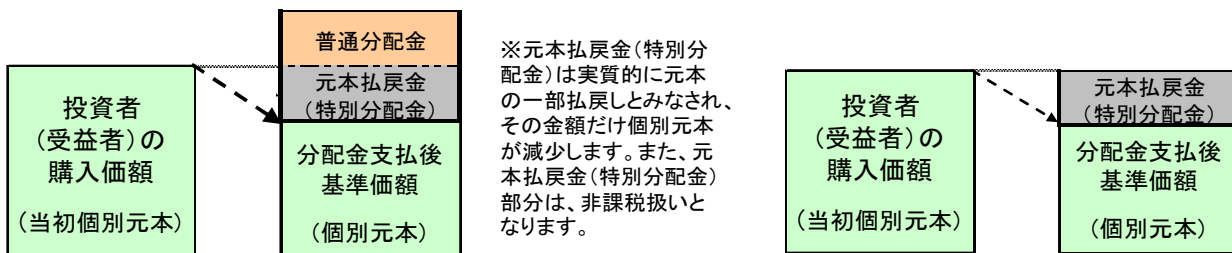
★A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金 : 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金) : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。